

＜学校教育目標＞ 今を精いっぱい生きる ・ 凡事徹底

◎希望を持って進む生徒

◇自ら学ぶ生徒 ◇思いやりのある生徒 ◇健康な生徒

1 本校の実態

(1) 生徒数(4月1日現在)

1年生	男子	52名(特1名)	女子	38名	小計	90名
2年生	男子	46名(特2名)	女子	43名	小計	89名
3年生	男子	45名	女子	46名	小計	91名
合計	男子	143名	女子	127名	合計	270名

(2) 学級数 通常学級：1学年3学級、2学年3学級、3学年3学級

特別支援学級(知的)：1学級 計10学級

(3) 教職員 県費負担教職員(SC・免外・拠点校・後補充を含む)25名

市費負担教職員 16名 計41名

(4) 生徒の実態

- ① あいさつができ、素直で明るい。
- ② 学校行事や生徒会・委員会活動に一生懸命に取り組む。
- ③ 時間を守って生活することができる。

2 目指す生徒像 <ミッション>

- ① 将来の自己実現に向けて、学ぶ喜びと自信にあふれ、心豊かに、たくましく成長する生徒
- ② 自分に自信を持ち、地域・郷土を愛せる児童・生徒(柏原小・中共通)

3 目指す学校像 <ミッション>

生徒の良さを見つけ、自己実現のために、厳しく、温かく指導・支援する学校
(正義と未来のある学校)

4 目指す教師像

教育者としての使命感や情熱を持ち、生徒に愛情を注ぎ、専門性が豊かな教師

5 学校経営方針 (生徒・保護者・職員・地域を大切にする)

(1) 組織を活かし、職員が学校運営に積極的に参画する学校

- ① 職員一人一人が組織の一員である自覚
- ② 報告・連絡・相談の徹底
- ③ 教員一人一人の授業力、学校全体の教育力の向上

(2) 生徒が活躍できる場をさらに設定し、生徒一人一人が仲間を大切にし、喜びを味わえる学校

- ① 授業が一番の生徒指導・生徒理解の場である意識と自己肯定感の醸成
- ② すべての生徒の学力保障と学力向上
- ③ 仲間づくり・人間関係づくりを大切にした学年・学級経営
- ④ 生徒が成就感、存在感、自己有用感を味わえる教育活動の展開

(3) 生徒、保護者、地域から信頼される学校

- ① 柏原中学校の生徒であることを誇りに思える学校
- ② 地域とともに学校運営に当たり、家庭・地域の期待に応えられる学校
- ③ 学びの場としての環境が整っている学校(花と絵と歌声がある学校)

6 本年度の重点課題

全教育活動で生徒への関わりを大切に、生徒のさらなる自尊感情の醸成を目指す。
そのために、生徒の活躍の場をさらに増やし、きっちり指導して褒める。

- (1) 基礎・基本を踏まえた主体的・対話的で深い学びの定着
 - ① 各家庭に学習案内（シラバス）を配付し、評価について説明します。
 - ② 主体的・対話的で深い学びを追究し、さらなる授業改善に努めます。
 - ③ 学力向上の検証を実施し、改善策を講じます。
 - ④ 複数教員によるTTや少人数指導で、きめ細かい授業をします。
 - ⑤ 地域の教育力を活用し、家庭学習が定着するよう努めます。
 - ⑥ 学習用タブレット等のICT機器を活用し個別最適な学習に努めます。
- (2) 豊かな心の醸成
 - ① 道徳科の授業の充実と道徳教育の推進に努めます。
 - ② 自己肯定感、関心・意欲を高める指導に努めます。
 - ③ 生徒が活躍できる活動や体験活動を、計画的に実施します。
 - ④ 読書の習慣化を図ります。
 - ⑤ 学校行事にはみんなで取り組み、リーダーを育成します。
 - ⑥ 各学年で、仲間づくりに取り組み、学校、学年・学級の連帯感を育みます。
 - ⑦ 全教育活動をとおして、柏原中の生徒としての誇りを醸成します。
- (3) 体育授業・健康教育の充実、部活動の充実
 - ① 準備体操、補強運動で基礎体力を養います。
 - ② 健康教育でテーマを決め、学校保健委員会を実施します。
 - ③ 家庭・保護者と連携し、基本的生活習慣の確立に努めます。
 - ④ 部活動をとおして、心身を鍛え、よりよい人間関係を醸成します。
- (4) 積極的な生徒理解・生徒指導
 - ① あいさつ、清掃など、凡事徹底を基本とし、規律ある態度を育てます。
 - ② 教育相談・教育支援の推進を図り、仲間づくりに努めます。（絆づくり）
 - ③ いじめを許さない、人権を尊重した指導に努めます。
 - ④ 自己存在感が得られる居場所づくりに努めます。
- (5) 安全・安心な学校環境づくり
 - ① 交通安全：自転車の乗り方等、交通安全意識と交通マナーの向上に努めます。
 - ② 生活安全：危険の早期発見、未然防止するため、学校の安全管理を徹底します。
 - ③ 災害安全：避難訓練を工夫改善し、生徒の安全意識・防災意識を高めます。
- (6) 特別支援教育の充実（特別支援教育は教育の原点）
 - ① 一人一人の良さを伸ばして将来に生かし、個々の特性に寄り添った支援をします。
 - ② 特別支援学級担当だけでなく、学校ぐるみで全職員が関わっていきます。
- (7) 進路指導・キャリア教育の充実
 - ① 自分らしい生き方の実現を目指した進路指導を行います。
 - ② キャリア・パスポート、進路キャリアコーナーの掲示物を有効に活用します。
 - ③ 職場体験、上級学校調べ等により、主体的に進路選択する態度を培います。
- (8) 地域に開かれた学校づくり
 - ① コミュニティー・スクールの充実と活性化を図ります。
 - ② 小中一貫教育を推進し、さらに中1ギャップの解消に努めます。
 - ③ 各種たよりで家庭・地域に情報を発信し関係を密にします。

7 柏原中生の実態と中学生の発達段階を踏まえて

- (1) 生徒の自主性・主体性を育てる。「自分で考え行動できる生徒を育てよう。」
- (2) 質の高い集団を育成する。「お互いの気持ちがり合える仲間をつくろう。」
- (3) まじめに取り組む生徒を育てる。「まじめに取り組むことを冷やかさない集団にしよう。」